

研究講習事業報告

学発番 学19-027

事業名： 臨床化学免疫血清研修会

日時： 令和元年09月24日（火） 18：30～20:00

場所： 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題1： 機器導入時の基礎的検討内容について

講 師1： 龍神 翔太（ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社）

主 題2： 炎症性腸疾患における便中カルプロテクチン検査の有用性について

講 師2： 千葉 明子（サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社）

参加数： 総数：7名（京臨技会員：7名）

報告者： 森上 陽亮(保健科学西日本検査部)

以下、講演内容など

演題1では、機器導入時の基礎的検討内容について、特に直線性と相関性試験の評価を中心に講演して頂きました。演題2では、最近、炎症性腸疾患の診断補助に有用な検査として保険収載された便中カルプロテクチンの検査の意義と臨床での活用方法について講演頂きました。